

平成 29年度 学校関係者評価報告書

大阪市立滝川小学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校自己評価は概ね妥当である。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

学校が今年度作成した「安心・安全ルール」に則った指導を実施し、今年度も安定した学校経営に取り組み、教職員がその結果を客観的に判断している。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学校が今年度の年度目標に真摯に取り組んでいる様子が結果に表れた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：

○平成29年度末の校内調査「いじめについてのアンケート」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

平成28年度 94% → 平成29年度 95% → **100%**

○平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を95%以上にする。

平成28年度 95% → 平成29年度 95% → **90%**

○平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

平成28年度 0件 → 平成29年度 0件 → **0件**

○平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

平成28年度0.9%(2件)→平成29年度0.4%(1件) → **0.4%(1件)**

達成状況の評価に関して妥当である。

「学校診断アンケート」の結果から、いじめのない学級作りに対して保護者から高い評価をいただいている。「学校のきまり・規則」については目標設定が高い分、今年度は数値の達成が叶わなかったが、児童が自分に正直に回答している様子が学校からの説明で把握できており、来年度に期待したい。暴力また不登校児に対し学校側がきちんとした対応を行っている様子をうかがうことができる。

学校の具体的な取り組みについても妥当である。特に本校の特色である併設幼稚園との「幼小交流」は今後も大切にしてほしい。

年度目標：

○平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと)

平成28年度 109 → 平成29年度 109以上 → **107**

○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率5.4割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。

平成28年度 3年生、4年生、5年生、6年生・・・2.3%

↓

平成29年度 3年生、4年生、5年生、6年生・・・2.3%以下

→ **2%**

- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7.5割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より増加させる

平成28年度 3年生、4年生、5年生、6年生・・・78.5%

↓

平成29年度 3年生、4年生、5年生、6年生・・・78.5%以上

→ **75%**

- 平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

平成28年度 76% → 平成29年度 77%以上 → **88%**

- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅跳びの平均の記録を、前年度より0.5ポイント向上させる。

平成28年度 男子144.3ポイント→平成29年度144.8ポイント以上

→**男子143.3**

平成28年度 女子136.9ポイント→平成29年度137.4ポイント以上

→**女子134.3**

達成状況の評価に関して妥当である。

学力経年調査、体力・運動調査の結果についてはともに目標に対してほぼ達成できており、来年度も継続して期待したい。特に「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という設問に対し、肯定的に回答する児童の割合が前年度より大幅に増加したことは、本校の先生方の授業に対する工夫また授業研究に真摯に取り組まれた結果である。

学校の具体的な取り組みについても妥当である。本校の教職員が今年度の目標に対しての頑張りが素晴らしい。それが「学校診断アンケート」の結果にも表れている。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 地域が学校をしっかりサポートし、支援する関係があり、協力体制が定着していることが滝川の児童の教育に活かされている。
- 校長先生のリーダーシップのもと、理科やICT活用をした授業研究にも熱心に取り組まれている。
- 幼稚園との連携が滝川の子どもたちの素直さ・優しさのベースとなっている。今後も幼小連携を大切に進めてほしい。
- 学校が様々な大会に参加にしなくなった年になったが、今後も体力面の向上の取り組みや工夫は継続して頑張ってもらいたい。
- ものを大切に使うことを「運営の関する計画」に取り入れてほしい。
- 英語や道徳など教科化で大変だと思うが、滝川の特徴に大事にて無理のないよう頑張ってもらいたい。